AI体験

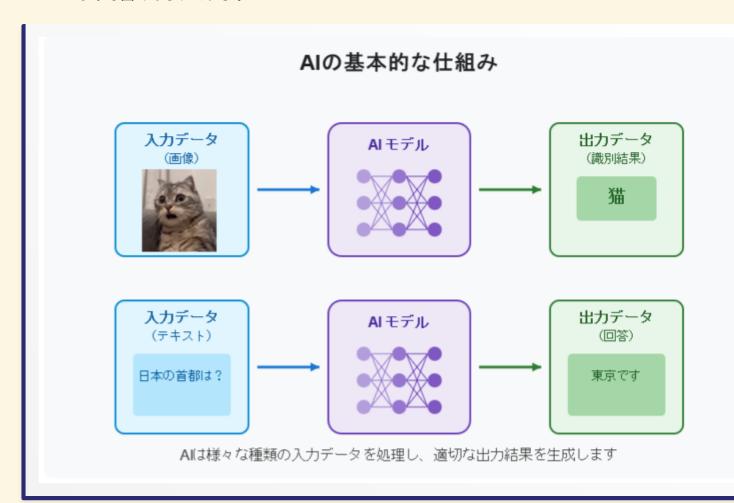
目的

AIを開発する全体の流れを把握してもらい、また、実際に自分の手でAIを訓練する経験をしてもらいたい

AIとは?

とりあえず、AIの中身はブラックボックスとします。その中身は今後学ぶことにします。

AIはこのような図であらわされます



AIの開発の流れ

まず、最初このAIモデルはランダムな数値で初期化されます。つまり、間違った答えをいうのです。 そこで、AIにたくさんのデータを見せてあげます。 この画像は猫、これは犬、これは車、これは人間、などと教えてあげます。 これをたくさん繰り返すと、AIは少しずつ、正しい答えを言えるようになります。

実際にやるには

実際の学習には高性能なパソコンが必要です。そこで、インターネット上のコンピュータを使って、そこでAIを訓練します。

今回はGoogleが提供しているColabというサービスを使います。 これは、ブラウザ(Chromeとか)の中で、Pythonというプログラミング言語を実行することができます。GPUも無料で使えたりで、AIの訓練に最適です。

では実際にAIを訓練してみましょう

テンプレートの準備

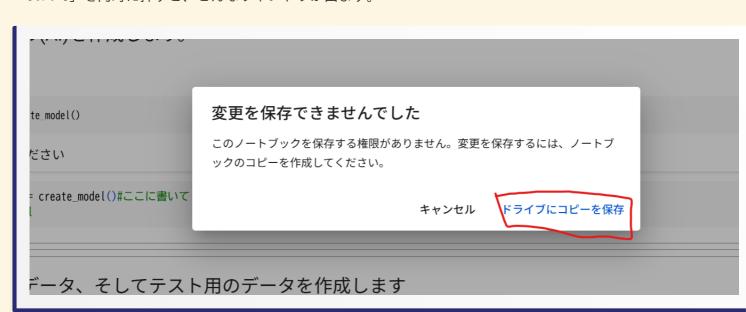
私が今回テンプレートを用意しました。そのテンプレートはまだ未完成なので、続きを皆さんに書いていただきたいです。

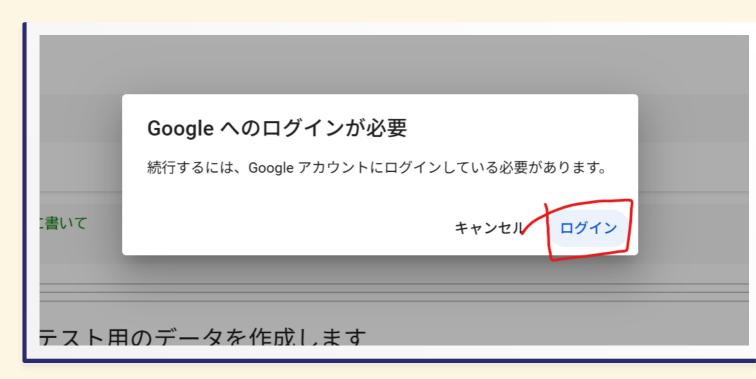
そのテンプレートはこちらからアクセスできます: Colabテンプレート

保存

これをGoogleドライブに保存します。Googleドライブとは、グーグルのでっかいサーバーの中にデータを保存できるサービスです。

「Ctrl+S」を同時に押すと、こんなウィンドウが出ます。





ログイン.. してきてください。

(※学校のGoogleアカウントでも良いと思うよ)

そして、もう一度もとのページに戻ったらOK

このノートブックは

今開いてあるページは、Colabのノートブックと呼ばれるものです。 ノートブックは、Pythonのコードを実行したり、文章を書いたりすることができるものです。 今回、私がコードの一部は既に書いておきました。「事前準備」は全て読み飛ばして、「実践」のところから始めてください。

書き写す

以下の内容を、Colabのノートブック上に書き写してみましょう!

- ~ 実践
- モデル(AI)を作成します。

```
[24] # ここにプログラムを書いて model = create_model()
```

> 訓練データ、そしてテスト用のデータを作成します

```
# ここにプログラムを書いて

train_dataset , test_dataset = generate_mnist_dataset()

show_data(train_dataset)
```

∨ 作成したAI(モデル)を、テスト

```
, [26] #ここにプログラムを書いて
test(model,test_dataset)
```

₹

モデルを訓練します。

[27]

train(model, train_dataset, test_dataset)

- マ 実際に訓練したモデルをテスト
- test(model, test_dataset)

 \rightarrow

実行

詿

「ランタイム」をクリックして

CO 4 情研AI班体験 ☆ △

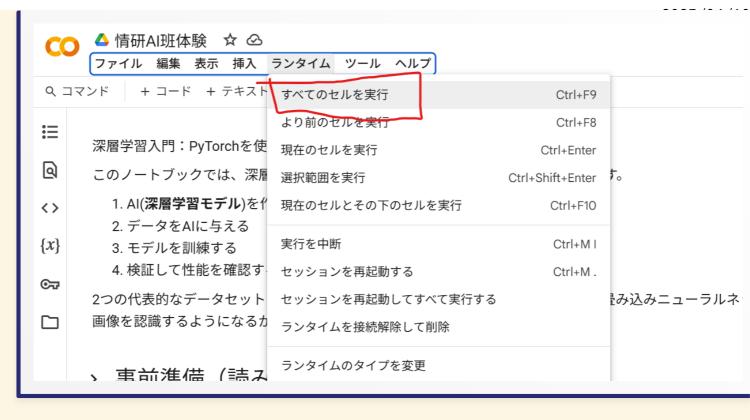
ファイル 編集 表示 挿入 ランタイム ツール ヘルプ

Q コマンド + コード + テキスト

深層学習入門:PyTorchを使った画像認識

■ このノートブックでは、深層学習の基本的な流れを理解することを目的としています。

「すべてのセルを実行」をクリックします。



すると、全てのコードが実行されます。時間がかかるので待ちましょう。

ちなみにエラーが出ることがよくあるので、気軽に声かけたりしてください

結果を確認

この実行でいつかのことが分かるはずです。

- 訓練(train)前は、AIの答えは間違えだらけだ!
- 訓練すると、答えは正しい。

次に

最初の体験で、ここまででできたら素晴らしいです!

興味がある人、少し深掘りしてみましょう

別のデータで訓練、テスト

```
train_dataset ,test_dataset = generate_mnist_dataset()
```

の部分を、

```
train_dataset ,test_dataset = generate_cifar_dataset()
```

に変えてみましょう。

そのうえで、幾つかのセルを実行してみましょう。

AIの中身を見てみる

部長が解説するかもです。